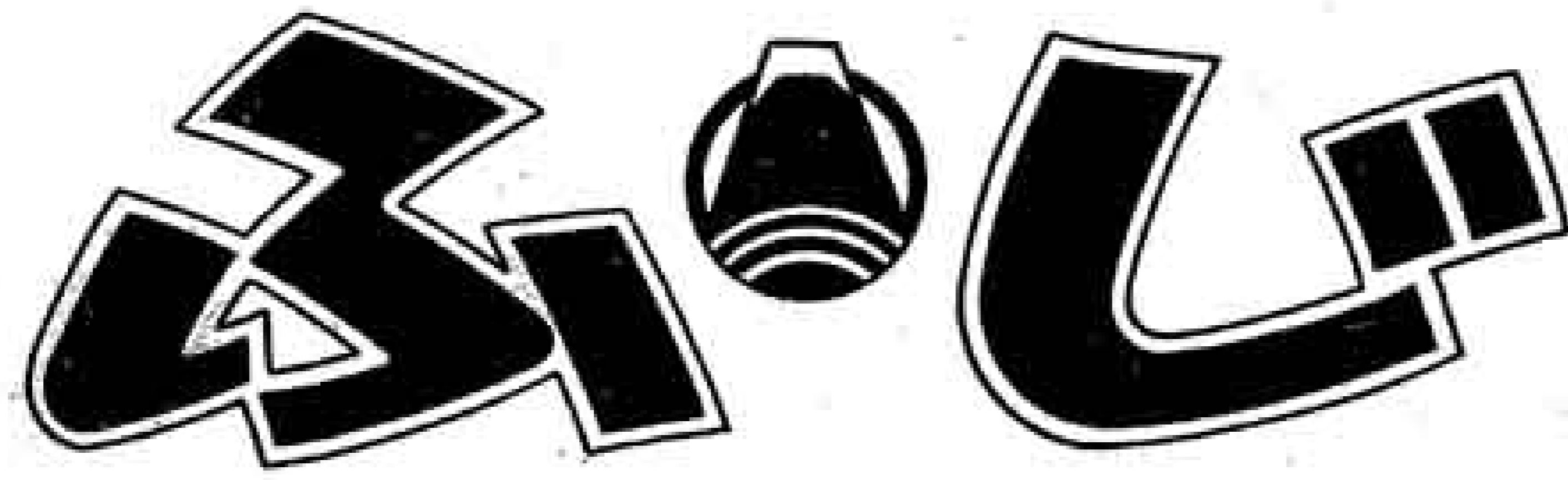


新年号

昭和43年1月1日



交通メモ

- ▷…運転するなら酒飲むな 酒を飲んだら運転しない
- ▷…年末年始の飲酒運転を追放する運動中 <1月10日まで>
- ▷…市民交通傷害保険 <保険料年間360円・加入申込みは市民課各支所>

私たちの  
富士市は  
交通安全都市を  
宣言しています

高めよう  
安全思想

富士市長  
斉藤滋与史

交通安全。それは私たちだれもの願いです。しかし、裏腹に交通事情は悪化するばかりで、常にわれわれの生命、財産は危険と脅威にさらされています。

この憂慮すべき事態に対し、抜本的な安全対策が望まれることはいうまでもないことです。

ご案内のように当市においては、昨年4月から「市民交通傷害保険制度」を実施し、万一の交通禍へ備えをしていただいています。また、5月には県下の都市に先がけ、行政機構の中に「交通課」を新設し、交通対策の一元的処理をはかっています。さらに6月には「交通安全都市」を宣言、市の行財政力を結集して、横断歩道橋、歩道、照明灯などの安全施設の整備充実を進めています。

だが、もとより「施設をつくる」という物理的施策の積み重ねだけでは、事故の絶滅、交通安全の実現を期すことはできないのです。これらの交通安全施設の整備にあわせて、なにもものにも優先する人間尊重の思想とルールに従った「正しい歩行、正しい運転」の励行など、交通安全思想の普及、徹底を市民総ぐるみで展開しなければ、目的は達成できないのです。

どうか、迎えた新しい年を機に「交通事故の絶無」を17市民ともどもお誓い申し上げ、交通安全へごんご一層のご努力と、ご協力をお願いする次第です。

ことしこそ  
みんなの力で  
交通事故を  
なくそうでは  
ありませんか

交通事故は  
いやです



吉原小五年  
白石博子

わたしたちの学校には、交通指導公園があります。まい朝、交通指導公園を歩いて教室へはいきます。学校の前の横断歩道には、交通指導員や先生方、6年生のひとたちがいて指導してくれます。学校のろうかには交通標識がさがっていて、その標識を守って歩いています。規則をやぶると「児童交通免許証」に書かれます。授業には交通の時間がある、自転車の乗り方、道路の歩き方などを学習しています。

わたしたちの町の自動車の数はふえてゆきます。それにつれて事故もふえてゆきます。このあいだも、学校のすぐ近くの横断歩道 1年生2人が自動車にはねられ、大けがをしました。運転手の不注意だったそうです。

わたしたちが交通規則を守っていても、運転手のひとたちが、スピードを出しすぎたり、酔っぱらいのねむり、わき見運転などをしていては、交通事故はなくならないと思います。

それに道路も悪いと思います。わたくしよく通る新通の広い道ですが、せっかく歩道があっても草がはえていて、歩く気になれません。土なのでほこりがたち、土がたまってしまいます。歩道を固めて、しっかりとした歩道にしてほしいと思います。ほかの道路も歩行者が安心して通れるような道にしてください。

運転手のひとたちが気をつけ、道路がよくなれば、事故は少なくなると思います。